企業・団体名（　伸商機工株式会社　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・全社で性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別がないことを確認している。 【予定】今後、就業規則への規定や社内勉強会の実施を進める。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・全社でセクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントがないことを確認している。 【予定】今後、就業規則への規定や社内勉強会の実施を進める。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・毎日のリーダー会議で各グループの残業予定を確認し、月単位では「時間外労働一覧表」により全体を管理している。 ・上記実施により、近年は大幅に時間外労働が削減されている。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・当社では現在、外国人労働者の雇用はないが、今後、海外からの実習生を受け入れる計画もあるため、差別や人権侵害のない体制を構築中である。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・7月から5S運動に取組み、朝夕の工場内整理整頓や身だしなみのチェックなどによる事故予防措置を講じている。 ・社内および他社での労働災害事例を全社で共有することで事故防止に役立てている。当社での発生懸念がある場合には、社長の改善指示により事故防止体制を講じている。 ・フォークリフト、溶接、作業管理者などの講習に参加し、認識を高めている。			3						8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・各部門リーダーがメンバーに積極的に声掛けをすることでお互いに気遣う企業風土が醸成されている。 ・外部機関（保険会社）による研修・勉強会を開催し、メンタルサポートサービスを導入している。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・長野養護学校からの就業者受入れ体制を構築済み。 ・高齢者の雇用継続中。 ・産休育休を就業規則に規定しており、既に制度利用実績もある。 ・従業員の教育・技術習得のため、費用面での支援を実施している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・各種免許取得や技能検定を奨励し、これら費用は全額会社負担としている。 ・幅広い技術習得のため、多能工化を進めている。 ・当社に在籍する板金マイスターから従業員に対する技術指導を実施している。 ・当社に在籍する板金マイスターは、長野県職業能力開発協会会員であり、要請により他社への派遣にも応じている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・社会保険労務士の指導により、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・毎年、じん肺検査（3年に一度）を含めた健康診断を実施中。 ・長野県健康経営登録制度に登録済み。 ・労働安全衛生法に基づく特定化学物質検査実施中。 ・熱中症対策のため、工場内へのエアコンを設置するなど環境改善に取組んでいる。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物は適切な業者へ処理委託し、必要な廃棄物はマニュフェストによる管理を実施している。 ・粉塵、砥石、フィルター等の適切な処理実施中。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・電気ガス軽油等の使用量を把握・管理している。 【予定】温室効果ガスの排出量を把握していく。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・製造や配送の効率化による排出削減に取組んでいる。 【予定】自社の温室効果ガスの排出量を把握する。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【予定】一般的有害化学物質の使用はないが、法令規制対象となる有害化学物質がないことを再度確認する。			3.9			6.3				11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・年2回、当社所在の塩野工場団地内の草刈りを実施している。 ・排水等による土壌汚染がないよう、注意している。						6.6								15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・製造工程で発生する端材（鉄・ステンレス・アルミ・銅・真鍮等）は、適切に分別の上、リサイクル専門業者へ処理委託している。 ・梱包資材のリデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる。 ・社内の会議資料は可能な限り裏紙を使用、軍手は洗濯し再使用するなど、消耗品のリデュースに取り組んでいる。											12.5		14.1				
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・使用量を総務経理で管理し、社員一人ひとりの節水を促している。						6.4 6.6										

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】今後、必要に応じ認証取得を検討する。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】今後、必要に応じ取組みおよびホームページ等への開示を検討する。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後、必要に応じ取組みを検討する。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・廃棄対象の搬送用木製パレットは解体し、イベント開催時の資材や災害の備品として社内加工・保管している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に禁止を規定している。 ・新入社員に対しては、同友会開催の研修でコンプライアンス教育の機会を設けている。 【予定】今後、定期的に社内勉強会を開催する。同業他社のHP掲載の方針など対応状況も参考にする。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に関与しないことを規定している。 ・新入社員に対しては、同友会開催の研修でコンプライアンス教育の機会を設けている。 【予定】今後、定期的に社内勉強会を開催する。同業他社のHP掲載の方針など対応状況も参考にする。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・当社オリジナル製品である「もえ太郎」（焚き火台）・「ぬく太郎」（薪ストーブ）は、商標登録済みである。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人取引先や従業員の個人情報は、厳格に管理している。 【予定】今後、個人データを作成した場合には、取扱いルールや管理面の体制を構築する。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・材料の出所を確認できる体制をサプライヤーと構築済である。 ・現時点で当社では取扱いはない。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・サプライヤーとは人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応で共通認識にある。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・フォークリフト、溶接、作業管理者講習会等に参加し、社内体制に反映させている。 【予定】個人の対応にバラツキがあるため、今後はマニュアル化を進める。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・板金マイスターの認定を受けた社員が在籍し、社内の技術水準の維持向上に貢献している。 ・デュアルシステムによる学生受入れや、板金マイスターの社外派遣により、地域全体の技術レベル向上に貢献している。 【予定】品質を維持するための手順書を作成中。今後、在庫管理の手順書をはじめとした必要な手順書作成を進める。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・自社製品については、環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・デュアルシステムによる学生受入れや、板金マイスターの社外派遣により、地域全体の技術レベル向上に貢献している。 ・子供達に仕事に対する興味をもってもらうため、「わーくわーくすざか」で板金技術を社会的に周知している。 ・災害時に備えた当社オリジナル製品の「もえ太郎」（焚き火台）・「ぬく太郎」（薪ストーブ）を開発済み。これらはふるさと納税の返礼品に登録済み。 ・須坂市への移住制度の就業受入れ企業に登録済み。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・デュアルシステムによる学生受入れや、板金マイスターの社外派遣により、地域全体の技術レベル向上に貢献している。 ・子供達に仕事に対する興味をもってもらうため、「わーくわーくすざか」の板金技術を社会的に周知している。 ・災害時に備えた当社オリジナル製品の「もえ太郎」（焚き火台）・「ぬく太郎」（薪ストーブ）を開発済み。これらはふるさと納税の返礼品に登録済み。 ・須坂市への移住制度の就業受入れ企業に登録済み。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・デュアルシステムによる学生受入れを継続している。 ・災害時に地域を支援する体制が整っている（過去の災害時に対応した実績あり） ・AEDを設置しており、緊急時には当社のみならず、地域内で使用可能である。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・資材を始め、福利厚生に至るまで地元のものを優先的に購入している。 ・採用は地域内からの採用を優先している。 ・ふるさと納税の返礼品に自社製品を登録済み。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・社内に掲げ、共有している。また、会議などの機会にはこれを確認している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・就業規則に規定済み。 【予定】今後、勉強会の機会を設ける。															16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・苦情等については各リーダーまたはこれ以上のものが対応する体制を敷いている。 【予定】今後、社内SDGs推進チームを中心に体制構築を進める。															16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・利害関係のニーズ・期待について社内で議論・確認済み。 【予定】今後、これらのうち優先度に応じた対応を進めていく。															16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・社内SDGs推進チームにおいてSWOT分析を実施し課題を明確化している。また、利害関係者のニーズ期待についても明確化している。															16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・社内SDGs推進チームにおいてSWOT分析を実施し課題を明確化している。また、利害関係者のニーズ期待についても明確化している。															16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】今後、必要に応じ策定を検討する。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】今後、必要に応じ対応を検討する。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）